

あやせブックリスト2025

【小学校版】

学校図書館にいる学校司書23人と学校の図書担当の先生で、みんなにおすすめしたい本を選び、【あやせブックリスト2025】にまとめました。

おすすめのポイントを見て、読んでみたいな、興味があるなと思う本を読んでみましょう。



	本のタイトル	おすすめのポイント
低学年	1 みっちりつぶつぶとうもろこし	みっちりつぶつぶが豊かに実るまでの様子としくみを絵と、こちよリズムのこばで、楽しく伝えます。
	2 しばらくあかちゃんになりますので	ママがあかちゃんばかりお世話するので、みーちゃんもあかちゃんになってみました。ところが、今度はママがあかちゃんになって・・・？
	3 たぶんソウ	箱のようなものから”にゅっ”と出てきた鼻と手足。これはソウ…なのか？ これは一体何なのか？不思議な謎いきもの絵本です。
	4 トドにおとどけ	トドさんに誕生日ケーキをとどけるカメメさん。ところが、おうちから出てきたのはトドによく似たアシカさん。次に出てきたのもこれまたよく似たアザラシさん。やっとトドさんに会えたと思ったら…。
	5 つぼみ	「これは、なんのつぼみでしょう？」花のつぼみにはいろいろな形があります。何のつぼみかわかるかな？ つぼみが育つまでの生長の様子や花をつかった遊び方まで紹介している本です。
中学年	6 あららははだけ	都会からいなかへひっこしたえりと、友だちのエミとの手紙のやり取りをとおして、自然のふしぎと、いじめをとりまく子どもたちの心の動きを細やかにえがいた作品。部屋にこもってしまったけんちゃんに二人はなにをしてあげられるのだろう。
	7 おばけ道、ただいま工事中!?	ぼくの部屋にとつぜん、おばけ道があらわれた。あの世とこの世をつなぐ道で1週間限定らしい。ネコのマロンがとびこんでしまって、さあたいへん！つれもどすために、なんとぼくまであの世へ行くはめに!?
	8 はれときどきぶた	「お母さんがえんぴつをてんぷらに」「金魚がへやをとびまわる」「ぶたがそらからふりました。」日記に書いたありえない話が本当に起こってしまうという、びっくりぎょうてんな、楽しいお話。
	9 にんきもののひけつ	バレンタインデーに同じクラスのこまつくんは27こもチョコレートもらった。ぼくはたった1こだけ。なぜ？そこでぼくはこまつくんの人気のひけつをさぐることになった。最後には尾行までしてさぐりだしたそのひみつとは？
	10 がっこうにまにあわない	家を飛び出し、あわてて走る男の子。今日は絶対に学校におくれちゃいけないのだ。にぎやかハッピーな世界をつっぱるスピード感あふれる絵本。いつもの通学路がぼうけんの旅に変わるかもしれない!?
高学年	11 てんどうせつ えほん 天動説の絵本	昔、絶対的に信じられていた天動説。人々がどのような過程をたどって天動説の間違いに気づき、地動説が信じられるようになっていったのか、わかりやすく書かれています。
	12 注文の多い料理店	宮沢賢治の代表的な童話ですが、今から100年ほど前の作品だと思おうと作者の自由な発想にとっても驚かされます！洋服や洋食が普及された大正という時代背景だからこそ、西洋料理店のレトロな雰囲気と何とも言えぬ不気味さに現在の私たちのワクワクが止まりません。
	13 チョコレート工場の秘密	世界一大きなチョコレート工場なのに、誰も働いている人を見たことがない。そんな不思議な工場を、くじで当たった幸運な5人の子どもが見学できることに。読むのが苦手な人でも、次が気になってどんどん読めちゃうよ！
	14 ほしのおうじさま	主人公の王子さまは、小さな星の王子さま。自分の星を旅立ち、様々な星を訪れ地球で会おう飛行士とのふれあいを描いた物語です。「大切なものは目に見えない」キツネとの出会いで王子さまは学びます。いまはまだ難しく感じるかもしれませんが、大人になっても何度も読み返したくなる、大切な1冊となるでしょう。
	15 まじよ ちつきゅうびん 魔女の宅急便	魔女の少女キキは、13歳の満月の夜、相棒の黒猫ジジと共に「独り立ち」の旅に出ます。新たな街で始めた「宅急便屋さん」でしたが…？本の目次には、「一大事に合う」「お正月を運ぶ」などなど…一体どんな出来事がまっているのでしょうか。悩みながら成長していくキキの姿を応援したくなります。



学校の司書さんが素敵な本をたくさん選んでくれたよ♪

おすすめのポイントを読んで選んでね♪

